

原 沢 久 志 議員



## 介護認定者に障害者控除 対象者認定書の交付を

問

高齢者で障害がある場合、すでに介護保険の要介護の認定を受け介護サービスを受けている場合が少なくない。

この場合、介護保険の認定に関する情報を市町村が把握しているから、この情報を基にして障害者控除対象者認定書を作成することができる。

こうした点をよく理解して、市でも津島市のように介護認定者が障害者控除対象者認定書の交付が受けられるようにしてもらいたい。

## 当面は現在の認定 基準で対応する

答 介護高齢課長

障害者控除の認定について

では、個々の障害を別々にきちんと判断することが非常に大切な要素だと考えている。

当面は現状の認定基準で進めたいと思っている。

## 福祉授産所の定員を増やせないか

問

(1) 福祉授産所の定員は19人でありスペース的には余裕があると聞くが、定員数を増やしたらどうか。

(2) 十四山・弥富の福祉授産所は、比較的障害の軽い人が対象になっていると聞く。障害の重い人は、他の自立支援法の許可施設に通所や入所することになっている。

利用料や職員の負担は大

変な状況であり、こうした障害の重い人ほど負担がかかってくる。

市として何らかの助成を考えてもらいたい。

## 関係者と協議 していきたい

答 福祉課長

(1) 定員数の見直しについては、23年度までに障害者自立支援法の認可施設に移行することもあり、今後の動向を考慮しつつ、関係者と協議していきたい。

(2) 現在、国や県においてより良い制度に向けて検討が進められているので、その動向を注意深く見守りたいと考えており、現在のところ、市独自の助成策については考えていない。

## 十四山地区からの 防犯灯新設要望は

問

18年度、十四山地区から出た防犯灯新設の要望は、どのような内容であったのか。

今後はどのようなのか。

## 申請通り すべて新設

答 防災安全課長

19年3月6日現在、十四山地区の要望は樺場1件・亀ヶ地1件・神戸4件・坂中地8件・竹田1件・鍋平21件であり、申請通りすべて新設した。

設置については、従来通り市が実施し、維持管理は合併協で旧弥富町の方式で実施することになっている。合併前より各区には説明してあるが、地元で管理をしてもらい、それに対して補助金を交付する旧弥富町の方法で実施する。